

昭和62年9月20日

第2号

『なかざとのひき』だより

発行 中里の家 鎌山市中里288-1番地
編集委員会 0470(28)2022

[中里ファミリー]

—幸福の追求—

「中里の家」の入所生は、この9月で49名になりました。

半年を過ぎようとして、ようやく気心も知れ、友達にもなれたような気がします。

“中里ファミリー”とでも言いましょうか、おこがましい話ですが49人の子供を持ったような気持ちです。和氣あいあいの中にも規律のある生活を送っております。

前号でお知らせしたように、作業訓練も順調に進んでいます。

結果をみるのは、まだまだ遠い先と思いますが、根気よく、気をながく見守っていく所存です。

この子たちの幸せを図るには、どうあるべきか、追求し実践して行くのが私達の使命であると考えております。

いずれにしましても、この子たちとの裸のつきあいが、まだまだ続くことでしょう。ご家庭と一緒に進んでまいりましょう。

施設の行事もいろいろと予定されております。

一層の御協力をお願いいたします。

(62.9.12 施設長記)

—8月19日～9月20日の園の動き—

8/19	東北福祉大学より実習生が当施設へ勉強にきました。
~9/1	ご苦労様でした。そして……就職活動に頑張って下さい。
8/19	安房南高校の3年生がボランティア活動におとづれました。
~	“手話”もできるなんて……驚きましたネ！
23	進路が決まったらまた遊びにきてください。まってまーす。
8/27	誕生会………松浦さん（53歳） 山崎さん（27歳）お・め・で・と・う 山口くん（21歳）
8/28	バーベキュー。（実習生——小川久美先生——との楽しいひととき） 花火大会 指導員の作ったバーベキューの味は…美味しいかった？ なにッ ビールがいちばん美味しいかった！ しかし花火300本の煙はすごかった。 皆の顔がみえなくなっちゃたヨ。
9/1	新入所生……石井 和彦君（35歳・在宅）………作陶部へ
9/2	” ……菊池 伸幸君（17歳・養護学校）………園芸部へ
9/3	それぞれ活動を期待しています。
9/15	映写会（子猫物語、あかずきんちゃん、フーテンのとらさん他）
9/20	八幡神社祭礼見物 ご協力ありがとうございました。 ふれあい広場

「中里の家」に期待する

保護者会々長 小原 一夫

「中里の家」だよりを有難く読ませていただきました。

施設長さんはじめ、職員の皆様の仕事にかける熱気が、紙面から湧き上がって来るような感じが致しました。

このように張切っていらっしゃる先生方に負けないように、親も子も、そして、発足したばかりの保護者会も、力一杯努力して行かなくては、と自らに言聞かせた次第です。

さて、「中里の家」に期待することとして、先ず第一は、「中里の家」という名が示すように、入所生にとって、楽しく生き甲斐のある我が家であって欲しいとおもいます。父親の厳しさと母親の優しさを兼ね備えた指導によって、それぞれが成長してゆける場であって欲しいものです。

第二に、社会性を育てる場であって欲しいとおもいます。

今まで他の施設に入っていた人は、曲りなりにも家庭よりはやや広い社会の中にいたわけですが、在宅の方は今度初めて大勢の仲間と、親ではない大人達との付き合いがはじまったわけです。様々な緊張や違和感があるでしょう。それらを解きほぐしながら、たとえ親が死んでも、ちゃんと社会の中で生きて行けるように育てて欲しいものです。

第三に、先生方の若い力で、創造的なアイデアに富む「中里の家」をつくって欲しいと思います。今は、スタートしたばかりで、施設面でも、指導面でもなかなか大変なことでしょう。他の施設を参考にされることも結構です。しかし、なるべく早くその城を駿して、「中里の家」だからこそできる、中里でなければできない運営の方法や指導法などを工夫し、創造して下さい。

最後に、先生方がいくら頑張って下さってすばらしい指導を受けても、親がほんやりしていては成果は上がりません。

せっかく「便り」を始めて下さったのですから、相互の理解をより深めるために、ぜひ「便り」の発行を続けて下さるようにお願い致します。

実習を終えて

2週間という短い間でしたが、多くの事を学び、楽しい思い出もできました。
私の人生の大きな糧となると思います。
園生の皆さん、どうもありがとうございます。
これからも元気で仲良く頑張って下さい。
施設長はじめ、諸先生方、職員の方々へ、
詳細な御指導、心より感謝致します。
小川久美（東北福祉大学4年）

ボランティア活動に参加して
期待と不安で一杯だった初日。
そして終わった今、私には何が
出来たのでしょうか。
私は、皆から優しさ、素直さを教わった。
本当の意味での優しさを。
大変だったけど参加してよかったです。
たくさんの思い出ありがとうございます。

須田加代子（安房南高校3年）

園芸部

新入所生を迎えて

パンパカバーン……またも登場“園芸部”
“イモ”も作れば“ラン”もつくっちゃいます。
そんな園芸部に9月2日に入所した「菊池信幸君」が入ることになりました。
“ノブ君”は、寡黙な内にも能力を秘めた逸材なので、すばらしい“イモ”や“ラン”
を作ってくれることでしょう。
エキゾチックな中にもトロピカル、これが新入所生を迎えた“園芸部”さ！
チャンチャン!!!!!!!!!!!!!!?

芸術家たちは今！



調理室便り

今年の夏は、酷暑であった為に館山保健所から発令された食中毒警報は、
10回もありました。当調理室では、食品の管理に特に留意してまいりました。
幸い何の問題もなく秋を迎える事ができました。
これからは、果物が美味しい季節になりますし身体の調子を整えるという意味から
出来るだけ多く提供していきたいとおもいます。
(9/10岡本)

医務室便り

夏の暑さが、尾をひいたように、日盛は、30度を超す暑さとはいえ、
野山を渡る風は、秋のもの。
皆の秋はどんな秋。？……食欲の秋、スポーツの秋、それとも、読書の秋。
入所した頃は、歩くことが苦手で、すぐに座り込んでしまったけれど、今では、
相の浜の海まで散歩に。
今月は、何と言ても、楽しみは、八幡のお祭り。
きっと、大勢の人達で賑うことでしょう。ふだん鍛えた足で、体調を整え、
力いっぱい、お祭りを、楽しみましょう。
(9/10古川)

一作陶部研修をうける

風光明媚な白浜の海岸線を走ると、
「白浜焼」という小さな看板が出ているのをご存知ですか。
白浜焼というのは、おせんべいでも
おまんじゅうでもありません。
これは、白浜の風土と自然を生かした独自の
焼物のことなのです。この先生は、
ただ者ではなく、そのセンスとアイデアには
目をみはるものがありました。

私達作陶部担当の鎌田、香田、山口は
この先生のもとで、6月末から8月までの
2ヶ月間、みっちりと（？）修行を積んで
まいりました。俗に「土もみ3年」と
言われるこの世界に飛込んでしまった
私達に待っていたものはなんだったのでし
ょうか。

第1日目には、いきなり裸足になれと
言われ、汗だくになって粘土をふみました。
また、後片付けの際、命ある粘土をけして
無駄にするでないぞと厳しい教えを
受けたこともあります。

陶芸の「と」の字も知らなかった私達
3人ですが、この研修で得たことを生かして
園生と力を合せて頑張っていきたいと
おもいます。

お・し・ら・せ

9/24	誕生会
9/25	防災訓練
9/29	家庭実習
~10/2	
9/30	家庭訪問
~10/1	
10/18	運動会 *

☆ 検便
☆ 体重測定
☆ 間接撮影
☆ 内科検診

編集後記
「中里の家」便り（仮称）第2号をお届け
ます。
ご協力戴いた方々に心より感謝致します。
まだまだ全てに暗中模索を続ける中で、常に筋
に筋る事なく青伸びする事なく素朴に、あ
るがままの心を語りあいたい。急ぎ足のせ
の中で、のろまでも不器用でも温かさ、優
しさだけはこわさないようにしたい……
…と心掛けています。